



岩手を守り、日本を変える。

# りっけん いわて 県連通信 No.10 2022.3.24号

## 「木戸口参議院議員、ロシアを厳しく非難。ウクライナへ連帯表明」



代表質問に立つ「きどぐち英司」参議院議員

木戸口英司参議院議員は9日、参議院本会議で代表質問に立ち、ウクライナへの軍事侵攻を進めるロシアを厳しく非難し「即時、完全無条件での撤退を要求する」と強く訴えた。23日にはウクライナのゼレンスキー大統領が国会でオンライン演説し、「化学兵器の使用の可能性や原発への砲撃で放射能汚染による環境破壊の懸念が高まっている」と、国内の惨状を訴えた。その上で「国連安全保障理事会が機能していない。ロシアの振興停止へ実効性ある国連改革が必要で、日本のリーダーシップが大きな

役割を果たせる」と強く要請した。演説を聞いた木戸口参議院議員は「ウクライナは私たちとともにある。国際平和のために果たせる、日本の真の国際的役割を強く認識した。一刻も早くロシアによる侵攻を止め、ウクライナに平和を取り戻す活動を続けていきたい」と述べた。



## 「深夜の激しい揺れに緊張。～県連、被害調査に走る～」

最大震度5強を県内で観測した3月16日の地震を受け、県連でも被害の実態調査に乗り出した。3月19日には、空路で岩手入りした県連緊急事態局長の木戸口英司参議院議員と小沢一郎衆議院議員、郷右近浩県議、菅野博典県議、千葉秀幸県議が被災状況を調査した。このうち、JA江刺園芸センターではJA江刺の小川節男組合長が選果機などに被害が生じている現状を説明した。小川組合長は「東日本大震災ほどの影響ではなかったものの、余震もあり被害の拡大が懸念される。対策を求めたい」と協力を要請した。県連では引き続き現地視察などを通じて実態把握を進めていくとともに、あわせて新たな巨大地震の想定も出ていることから、災害対策に注力する考え。



奥州市JA江刺園芸センターを視察

野田村を視察